

ジンジャーとフレッド

フェデリコ・フェリーニ監督作品

タイム・ライトにうかんで消える芸人の世界。華やかに、哀しくフェリーニ・サーカスの開幕。



FEDERICO FELLINI

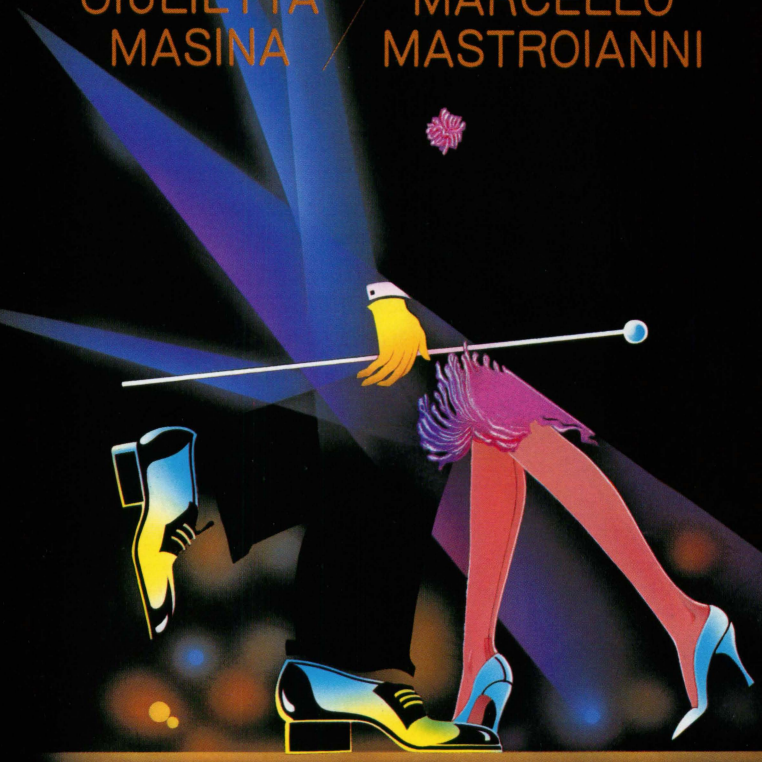


GINGER
e FRED



GIULIETTA
MASINA

MARCELLO
MASTROIANNI



1986年イタリア・アカデミー(ダヴィッド・ディ・ドナテッロ賞) 主演男優賞(マルチェロ・マストロヤンニ) 1986年銀のリボン賞(外国映画ジャーナリスト賞) 主演女優賞(ジュリエッタ・マシーナ) 主演男優賞(マルチェロ・マストロヤンニ) 主演女優賞(ジュリエッタ・マシーナ) 美術賞(トニーノ・デッリ・コッリ) 音楽賞(ニコラ・ピオヴァーニ) 製作賞(アルベルト・クリマルティ) 撮影賞(エンニオ・バルネーリ) トニーノ・デッリ・コッリ 美術賞(タンテ・フェレンティ) 音楽(ニコラ・ピオヴァーニ) 製作(アルベルト・クリマルティ) 配給(ヘラルド・エース 日本ヘラルド映画)

ジンジャーとフレッド

★華ひらくフェリーニ・サーカス

イタリア映画界を、というよりいまや世界を代表する巨匠監督フェデリコ・フェリーニ。前作『そして船は行く』(81)から4年、またしてもさまざまな話題を振り巻いてフェリーニ・サーカスがやってきました!

『ジンジャーとフレッド』は、テレビのクリスマス番組で30年ぶりに再会するダンスコンビ、ピッポとアメリアの物語だ。芸名はもちろんミュージカル史上最高のダンサー、フレッド・アステアとジンジャー・ロジャースから取ったもの。

さて、年老いたふたりが喧嘩のローマで見たものは…

★初競演! マストロヤンニとマシーナの熱演

主役のピッポとアメリアを演ずるのは、イタリア映画界を代表する2大俳優、マルチェロ・マストロヤンニとジュリエッタ・マシーナ。長い芸歴を誇るふたりだが、映画での共演は全くの初めて。

ふたりともフェリーニ一家の一員として多くのフェリーニ作品に登場してきたのは御存知のとおり。しかし、実生活でも40年以上にわたってフェリーニの伴侶でもあるマシーナが、夫の作品に出演するのは実に20年ぶりである。マシーナは、『道』のジェルソミーナに匹敵する素晴らしい演技を見せている。また、テレビ番組の司会者役をつとめるフランコ・ファブリッツィも、『青春群像』の主役を演じたフェリーニのお気に入り俳優のひとつだ。

★さて、お話しは…

大都会ローマ。喧嘩の駅にいまひとりの女性が登場した。アメリア・ボネッティ、30年前に一世を風靡したダンス・コンビ<ジンジャーとフレッド>のジンジャーだ。彼女はテレビのクリスマス番組に出演を依頼され、30年ぶりに再会するフレッドことピッポとコンビを再結成して踊りを披露するためにやってきました。

久しぶりに会ったピッポも老いをかくせぬ年になっていた。テレビ局のスタジオに入ったふたりを迎えたのは、テレビの持つけばけばしさと猥雑さだけだった。

本当にこの晴れの舞台を成功させることができるのだろうか。ひと言交わしただけで心までも30年前に戻すことのできたふたりなのだが、身体の衰えだけは別だった。本番の時間が近づくにつれ、緊張も高まる。そして幕が上がった。

「30年ぶりの再会! ジンジャーとフレッドがタップを披露します!」

★ソックリさん総登場!

モデルとなったフレッド・アステア、ジンジャー・ロジャースはともに今でも健在である。この映画を見たアステアは、フェリーニに感謝の手紙を送り、一方ロジャースは肖像権の侵害として告訴に踏み切ったという。

また、クライマックスの番組本番シーンにはさまざまなソックリさんが登場する。エリザベス女王、クラーク・ゲーブル、テリー・サバラス、レーガン大統領、ウディ・アレン、マルセル・ブルースト、マルレーネ・デートリッヒなど。どれだけ見つけられるかもまたお楽しみ。

■1986年イタリア・アカデミー(ダヴィッド・ディ・ドナテッロ賞)
主演男優賞(マルチェロ・マストロヤンニ)、衣裳、音楽賞受賞

■1986年銀のリボン(外国映画ジャーナリスト)賞
主演男優(マストロヤンニ)、
主演女優(ジュリエッタ・マシーナ)、美術・衣裳賞受賞

キャスト

アメリア・ボネッティ…ジュリエッタ・マシーナ
ピッポ・ボッティチェッラ…マルチェロ・マストロヤンニ
テレビ司会者…フランコ・ファブリッツィ
海軍大将…フレデリク・フォン・レーデンブルグ

スタッフ

監督:フェデリコ・フェリーニ
原案:フェデリコ・フェリーニ
トニーノ・グエッラ
脚本:フェデリコ・フェリーニ
トニーノ・グエッラ
トゥッリオ・ビネッリ
撮影:エンニオ・グアルニエーリ
トニーノ・デッリ・コッリ
編集:ニーノ・バラーリ
ウーゴ・デ・ロッシ
ルッジェーロ・マストロヤンニ
美術:ダンテ・フェレッティ
衣裳:ダニーロ・ドナーティ
音楽:ニコラ・ピオヴァーニ
製作:アルベルト・グリマルディ

1985年/伊=仏合作
Pea Produzioni,
Europee Associate(Roma)
+ Revcome Films(Paris)
+ Stella Films(Munich)製作 /
2時間8分
配給:ヘラルド・エース
日本ヘラルド映画

'87年正月ロードショー

特別鑑賞券 ¥1200 発売中(当日 ¥1500 均一の処)

シネマスクエア
とうきゅう

新宿ミラノ座横3F (232)9274

全自由席定員制 ● 入替制

※満席および上映中の入場はできません。

連日 11:00 1:40 4:20 7:00

●毎金・土曜はレイトショー実施、PM9:30より